

第28回女子青年大会に向かって道内各支部より 担当者及び女子青年代表者が教務支庁に結集 大会成功を誓いあった



第525号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
E-mail: kyokuh@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社



去る4月3日、教区婦人会(山本亨子主任)は今年道内6会場で開催される、第二十八回女子青年大会「話そう! みんなで」に対する説明会を開催した。これは3月26日の本部婦人会での研修会を受け開かれたもので、全道二十七支部ならびに会場となる雨龍、網走、夕張の各大教会の女子青年担当者、委員長ら約

「第二十八回 女子青年大会」へ 若き道の華、躍進を誓う



60名が参加した。始めに教区女子青年担当者より、テーマ、内容、今後の取り組み方についての説明と質疑応答。昼食後、教区女子青年しらゆき会常任委員の司会で、グループワークを体験。その後担当者と女子青年に分かれて、大会に向けての練り合いを実施。最後は、参加者一同でよりよい大会の御守護を祈念し、お願いづつめを勇み心一杯で勤め、散会となった。

60名が参加した。始めに教区女子青年担当者より、テーマ、内容、今後の取り組み方についての説明と質疑応答。

この度の熊本を中心とした九州地方の震災に被災された皆様に対し、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。
また、頻繁に続く余震からの安全をお祈り致します。
教区長 西垣定洋

天理教を紹介します  **天理教基礎講座** TENRIKYO BASICS COURSE どなたでもお聞きいただけます

天理教はいつどこで始まったのか、どんな教えで、どんな活動をしているのかなど、この講座で天理教の基本的なことが一通りわかりいただけます。

《北海道会場の御案内》

5月1日 (日)	13時30分	小樽天理教館
5月29日 (日)	13時30分	網走市エコーセンター2000
6月5日 (日)	13時30分	教務支庁
7月9日 (土)	13時30分	教務支庁



4月1日付で、**教区長**より**役職**、**主事**、**支部長**、**地方委員**に**辞令**が**交付**されました。

《主 事》※役職・支部長兼任の方は主事の項に写真掲載



伊藤逸雄
(北湧分)



岡田雅人
(道北分)



美田伸一
(晃糸井分)



矢島建身
(上川分)



北村廣久
(羽幌分)



山本 元
(統北分)



高橋政嗣
(俱知安分)



富山敦雄
(栗山分)



桐谷厚平
(陽光分)



新川正人
(網新分)



大浦正記
(高社分)



笹田道継
(膽振分)



松下義之
(北旭分)



藤田好道
(幌都分)



三幣健志
(網走大)



高橋太志
(祝梅分)



倉内章次
(天北分)



北山慶一
(長万部分)



奥村尚人
(六華分)



加地道喜
(比布分)



可児孝之
(河西分)



関野 保
(苫前分)



札幌白豊
武田一教
(北榮分)



札幌中南
庄田道則
(陽気榮分)



小樽
高橋義清
(景勝園分)



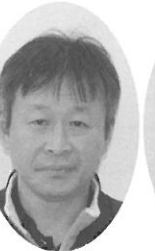
余市
森 明
(余市港分)



俱知安
久保田英明
(神園分)



八雲
逢見典道
(黒松内分)



渡島
水島久治
(北檜山分)



函館
大野成一
(北光分)

《支部長》



空知
新谷和延
(新十津川分)



南空知
高橋善嗣
(南江分)



日高
古川陽一
(北厚分)



室蘭
岡崎秀人
(本輪西分)



苫小牧
菊地雅之
(吉菊分)



千恵広
岩谷清隆
(漁分)



札幌東
堤 文雄
(太美分)



札幌北西
武田親一郎
(輕川分)



北見
西増博文
(仁頃分)

網走
倉内章次 (天北分)



釧根
栗栖文夫
(標津分)



十勝
郷司 諭
(十勝分)



富良野
岡田正弘
(富良野分)



上川
白鳥道之
(永山分)



旭川
藤崎 実
(旭都分)



天龍
松下敏孝
(北龍栄分)



委員長
北村貴久
(羽幌分)

《青年会》



委員長
廣岡洋子
(美唄分)

《女子青年・しらゆき会》



主任
山本亨子
(統北分)

《婦人会》



宗谷
五十嵐 仁
(男能富分)



天塩
佐藤仁志
(東剣測分)



紋別
渡邊國源
(紋別分)

《北海道寮 育成委員》

- 伊月 和秀 (札和)
- 下村 儀道 (統月)
- 藤野 充普 (阿北)
- 山田 道弘 (當別)
- 山端 豊城 (室松)
- 関野 保 (苫前)
- 大上 道德 (本樺)



寮長
甲谷 久
(苫錦分)

《布教の家北海道寮》



委員長
井谷歩矢
(神羽分)

《学生会》



委員長
笹田弘行
(千代ヶ岱分)

《学生担当委員会》



団長
久米田忠彦
(北盛分)

《少年会》

北海道は中学の修学旅行で来ただけなので、馴染みも無ければ特に知人がいるわけもなく全く未知の土地です。
奈良出身の自分にはこの4月の寒さに驚かされてばかりです。北海道は他の寮とは違い、距離や交通費など色々な問題があります。あくまで目標は別席者をお与え頂く事ですが、数などにとらわれることなく、北海道ならではの布教、種まきが出来たらいいなと思います。そしてなによりせっかく来たこの北海道の地を楽しんでいきたいと思っています。一年間よろしくお願ひします。



澤田正健氏
(本部)



岸本達朗氏
(櫻井大・星川分)

私は和歌山から初めて北海道に来させて頂きました。思っていた以上に北海道は寒く、まだ冬にもなっていないのにどうなるのかなと思っております。しかし、寒い中を必死におたすけに、にをいがけに歩かせて頂く事で心が成人するのではないかと思います。
一年間色々な日があると思いますが、親神様に心を寄せてしっかりと通らせて頂き、北海道に行つてよかたなど言ってもらえるような姿で帰らせて頂きたいと思ひます。

布教の家北海道寮
— 教祖130年祭の今年、二人の若者が北の大地に勇躍始動！ —

役職一覧

総務部	部長	高橋政嗣
教務部	部長	桐谷厚平
布教部	部長	美田伸一
災救隊	隊長	奥村尚人
福祉厚生部	部長	伊藤逸雄
文化広報部	部長	加地道喜
輸送部	部長	笹田道継
教化育成部	部長	高橋太志
庶務部	部長	岡田雅人
会計部	部長	松下義之
主事会	主事長	山本 元
会計監査会	委員	藤崎 実
		高橋義清
集会員		岡田雅人
書記	代表	渡部 進
書記		齊藤智明
書記	助手	井谷一步

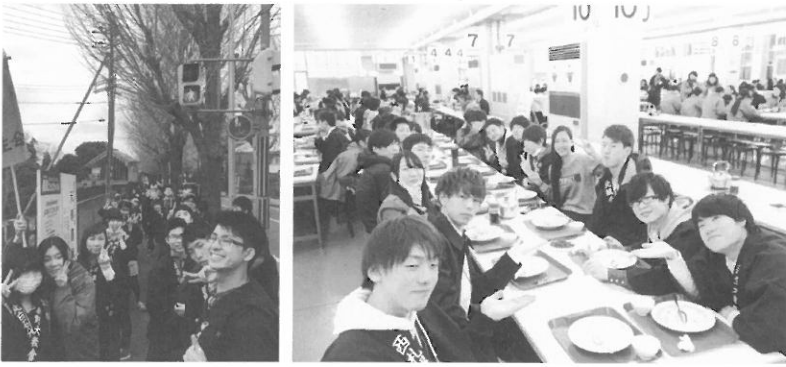
教祖130年祭学生おぢばがえり大会報告 115名の学生会員 おぢばに集う

3月28日日本部中庭で開催された「教祖130年祭学生おぢばがえり大会」。全国から過去最多となる9、345名がおぢばに集った。教区学生会もこの日に向け、飛行機やフェリーで団体を組み、現地参加を含めて115名が参加した。フェリー組は25日に北海道を出発。26日におぢばで現地組と合流し、翌27日には、全体ゲームや、班別タイムを企画。夜には前夜祭で模擬店を出店し、北海道名産「いももち」を販売した。28日は、大会式典後、各々直属アワーに参加。全国の仲間との交流を図った。



この大会に向け1年間委員長としての大役を務めた久米田和義君は、「親神様が作って下さった道を、多くの仲間と共に通る事が出来たことをとても有り難く思う」と語っていた。本当にお疲れ様でした。

※北海道からは直属単位や個人でも参加されておりますが、集計は後日発表されます。



少年会設立50周年を迎えて 少年会本部より教区巡回

4月2日に、少年会本部より、この秋設立50周年を迎えることへの教区巡回があり、少年会本部委員(鼓笛課長)の田中明先生が来庁され、親から子、子から孫へと信仰を伝えていく縦の伝道の大切さについてのお話があった。

先生は「自分の産んだ子には、信仰を伝えよう、また信仰の喜びを伝えていこうと努力しても難しいことがあり、それを補う役目として、天理教少年会

が設立された。育成者が親神様、教祖を見つめて通る中に、何かを感じ取ってくれる処となり、立派なようにほくに育つのではないかと思う。リトマガを配る、さんさいを渡すという動きからでも、信仰は伝わります。」と述べられた。

その後の支部委員長との練り合いでは、7月29日におぢばで20年ぶりに開催される「どさんこの集い」などについての話し合いがなされ、50周年をむかえ、共に心を合わせ支部活動の充実を確認しあった。

「どさんこの集い」には、このTシャツを!!

教区団では、北海道のみんなが、一手一つに結集出来るように、その旗印としてTシャツを作りました。サイズは子供用のSSサイズから3Lサイズまで。各支部で、色など変わるようですが、背中に「北海道」の文字が入っています。その「道」の文字が、ひらがなの「いってひとつ」という文字から出来ています。(可児道男氏作)お申し込み、販売価格は各支部担当者まで。

献血は大きなおたすけ 福祉担当者会議(前期) と献血推進研修会開催

4月2日支部長会議の席上と、支部長会議終了後の福祉担当者会議(前期)にて、赤十字社課長のお話と献血推進のDVDを交えて、献血推進研修会が行われた。

まず、日赤の献血ルーム・献血車などで、天理教として登録している人がどれだけ協力しているかを、表や数字で現し、その実績が落ちていることから、「天理教の方々の積極的な献血と呼

びかけで、現在の全血と血小板献血の慢性的不足をなくしたい。」

さらに、「天理教の方には、月に一度から複数回行くようにしてほしい」と協力を要請された。今、献血された血液の80%が内科的な病気、中でもガンや白血病の治療に使われているという話から、小児ガンの子供の闘病を扱ったDVDで、献血は目に見えないが、大きなおたすけであると教えられて、支部長、福祉担当者とも、目からウロコの研修会であった。

北海道教務支庁日誌抄

- 3月19日、4月17日 (3月19日、4月17日)
- 3月25日 学生会 教祖130年祭学生 おぢばがえり大会出席 (30日帰省)
- 3月26日 本部月次祭選擇式
- 30日 図書修理会
- 4月1日 たすけ推進会議
- 2日 支部長会議
- 福祉支部担当者会議
- 少年会支部担当者会議
- 布教の家 入寮式
- 3日 婦人会
- 女子青年大会説明会
- 10日 第173回基礎講座
- 講師 宮内 泰夫先生
- 受講者 9名
- 累計 7922名
- 16日 道の教職員集い例会
- 17日 教区報編集会議